下の写真は、震災から13日経過した3月24日、ELV機構ならびに災害車両処理対策本部関係者が仙台市と周辺を視察した際に撮影した写真です。「災害時支援隊」の印を付けたバスで、道路とおぼしき場所を走行した視察団員の目前に広がる景色には「正常」なものは何もなく、あらゆる物が破壊され尽くしていました。 この凄まじい状況は、視察団が訪れた場所に限ったものではなく、恐らく、まだ足を踏み入れることができないような他の場所では、更に凄惨なものであったろうと想像に難くありません。

ELV機構を始めとする関係団体は「我々にできることはやろうと」と立ち上がりました。本紙でもご紹介している義援金の応募には数多くの会員、非会員の方々からお振り込みがありました。被災車両の撤去、保管場所への搬送作業については、対策本部に属する一部団体の会員達が現地に乗りこみ、作業を始めています。 世界中から“Ganbatte Nippon”のメッセージが寄せられています。 皆様のさらなるご支援を期待しています。